

陸前高田市地域おこし協力隊 活動報告

東北株式会社（三陸おもてなしレンタカー）

穴戸那央樹

令和4年10月14日

着任からの経緯

- 2021年2月 : 着任(引き継ぎ)→移住
 お弁当配達・見守りバス関係を中心に活動
- 2021年10月 : 大型イベント時にパーク＆ライドの実証実験を実施
- 2021年12月 : 活動報告会
- 2022年2月 : 着任(引き継ぎ) 2年目スタート
 引き続き、お弁当配達・見守りバスの貸し出しを実施
- 2022年4月 : 大型イベント時の輸送計画（自家用車・バス等）の策定・実施
- 2022年10月 : 活動報告会
- 2022年11月 : 地域おこし協力隊 卒業

活動内容

- レンタカーの貸し出し
 - 初年度に引き続き、お買い物バスとしての貸し出し
 - 現地視察やお試し移住などでも貸し出しも実施**

- 高齢者見守りお弁当配送
 - 初年度に引き続き実施

- 大規模イベントでのパーク＆ライドの実証実験
 - イベント時の輸送計画策定・実施**
 - 交通規制(路駐対策など)
 - 自家用車用駐車場としての空き地利活用
 - ライナーバスやツアーバスの造成

【参考】 お買い物バス実施の様子



東海新報「支え交通のモデルに 横田で実証実験開始」
(<https://tohkaishimpo.com/2020/02/05/280084/>)



東海新報「地域独自に『足』確保 米崎上浜田地区が実証実験」
(<https://tohkaishimpo.com/2021/01/22/314294/>)

【参考】 高齢者見守りお弁当配送の様子



東海新報「見守り兼ねた配送事業開始」(<https://tohkaishimpo.com/2021/06/08/327907/>)

現状の問題と今後の解決策①

- レンタカー利用需要がサービスと伴っていない。
 - 東京方面から来られる方は仙台や一ノ関でレンタカーを借りて移動している。（陸前高田まで直接来てレンタカーを借りるケースは稀）
 - トラックやバンボディ利用の問い合わせが多少ある。（主に地元の方）
 - 長距離移動の希望者が多数いる。（長距離用のレンタカーの不足）

〈解決案〉

- ① 気仙ライナーや三陸鉄道等との連携を図り、より利用しやすい&目にとまるサービスを造成する。
- ② 多様な車種の導入を検討する。
- ③ 貸し出しと返却をスムーズにし、現地で借りて現地で返す利便性を高めるサービスを実施する。（お試し移住や現地視察との連携を強める）

現状の問題と今後の解決策②

- 大規模集客に対応する輸送計画が脆弱
 - 臨時駐車場の整備がままなっていない。（草刈り、泥濘対策、動線など）
 - 空き地や市営駐車場等の利活用がしきれていない。
 - バス輸送の仕組みが確立できてない。（ロータリーの機能、路線、バス駐車場など）

〈解決案〉

- ① 砂利敷きやアスファルト舗装など、管理がしやすい状態への整備を検討
- ② 地元住民の方々や市役所と連携・協議をし、空き地の活用方法を策定
- ③ 自家用車・バス・公共交通・歩行者・住民等、町全体での輸送計画を作成&シミュレーションや実証実験の実施

→ これまでの反省・課題を改めてまとめ、輸送計画を検討・策定する。

総括（これまでの活動を振り返って）

- 観光二次三次交通という切り口から、多種多様な業種の方々と意見交換をし、多くの知見や気づきを得た。（需要の多様性、利用方法や目的の違いなど）
- 交通は老若男女問わず、また地域の方々や他地域から来られるの方々など、多くの方に関係する課題であると感じ、同時にその仕組みを作ることに難しさを感じた。
- 普段の生活、イベント時の輸送手段、公共交通などが関わる「交通」を通して、より使いやすく、継続的に実施可能な方法について今後とも検討・実施をおこなっていききたい。

→引き続き、同社に所属し、ディレクターとして、より良い仕組みを作っていく。